

#ふるさと納税3.0 企画提案書

1. 提案者について

①提案者の概要

※提案者の事業概要をご記入ください

(記入例)

〇〇市で創業。国内・海外に独自の水産品仕入れルートを持っていることを強みとし、主に新鮮な水産品を食材としたレストランを運営し30年になる。コロナ禍までは堅調なビジネスを展開し北陸エリアで4店舗を直営で運営している。コロナ禍で外食ビジネスが不透明なこと、また巣籠り・中食需要の増加、消費者の嗜好の多様化(安全・安心・高級嗜好)にあわせ、これまで物販に関してはレストランでの土産販売程度であったが、今後、弊社の強みである独自の仕入れルート、長年培ってきた調理加工技術を活用し、物販・ECビジネスへの本格参入を考えている。

②実績について

※今回の提案事業の実績をご記入下さい、新規の場合はこれまでの事業実績をご記入下さい

(記入例)

今回ご提案の商品については、新規の取扱いになりますが、創業以来30年事業を継続してきており、直近でのレストラン事業の売上は、18年3.5億円、19年4.2億円、20年1.8億円(コロナ禍の影響)の実績があります。(受賞・表彰歴などあれば記載)

2. 提案内容について

①事業の概要・全体図

※どのような事業を行うのか事業の全体像やスキーム図、想定する返礼品をご記入下さい

(記入例)

【プロジェクト名】

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇プロジェクト

【返礼品】

フカヒレ・アワビ・イクラ・キャビア等の高級水産品の加工食品

【提案の課題や背景】

上記のような環境・消費者ニーズ変化を課題と感じていたところ、CFで集めた寄附額に対し、補助対象経費として4割、商品売上げとして3割、計7割の支援が受けられる本施策を知り、またとないチャンスの機会と捉えている。

【提案内容】

氷見 高級水産加工品ブランド化プロジェクト(高級食材メインの水産品の加工・販売)
氷見市内に海産物加工場を新たに設置し、市内実店舗での販売(EC含む)を新規展開する。

【新規性・市場性・経済波及効果】

商品自体の新規性には乏しいが、ウニ・イクラ・アワビ等の高級水産食材は富裕層から一定のニーズがあることに加え、また長年運営してきたレストランの知名度とブランド、弊社の加工技術、独自仕入れルートを活用した高級海産物の加工・販売はビジネスとして成立すると考えている。また、氷見市の課題として地場産品、特に1次産品が少ない、また海に面してはいる

ものの、水産の特産品が少ないと感じているので、氷見のオリジナルのブランド商品として、将来的に育てていきたい。

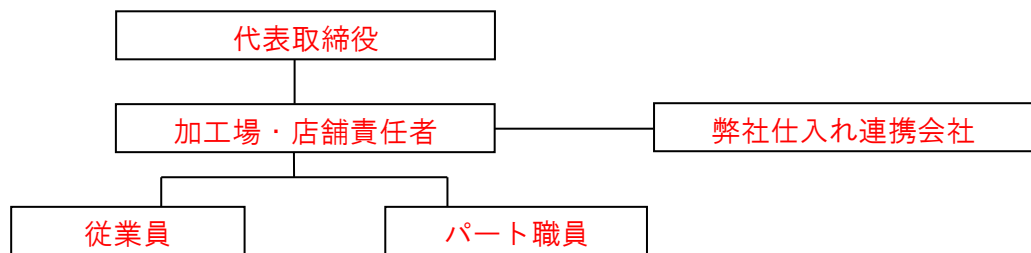
②事業スケジュール

実施項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
加工場設置			→							
設備発注				→						
設置工事					→					
仕入・原材料調達							→			
お礼品発送								→	→	→
物販開始								→	→	→

補助金額（寄附総額の10分の4）が補助対象経費の50%に達したら事業を開始（秋ごろ見込み）し、加工場整備に着手、順次必要な準備を進め、2月下旬から返礼品発送を開始する。

③事業の運営体制・連携期間などについて ※別添可

【運営・組織体制】



【役割等】

役職等	人数	役割
役員	1名	責任者
部長	1名	加工場管理・販売管理責任者
従業員	2名	加工・販売補佐・人員配置補助
パート職員	5～6名	製造工程補助・販売

④事業に関する法律、規制について

HACCP
水産庁

3. 収支計画について

事業の収支計画

※別紙「収支計画書（補助対象経費の概算見積書）」のとおり

（注1）必要に応じて記入欄を増やして差し支えありません。